

令和3年12月24日

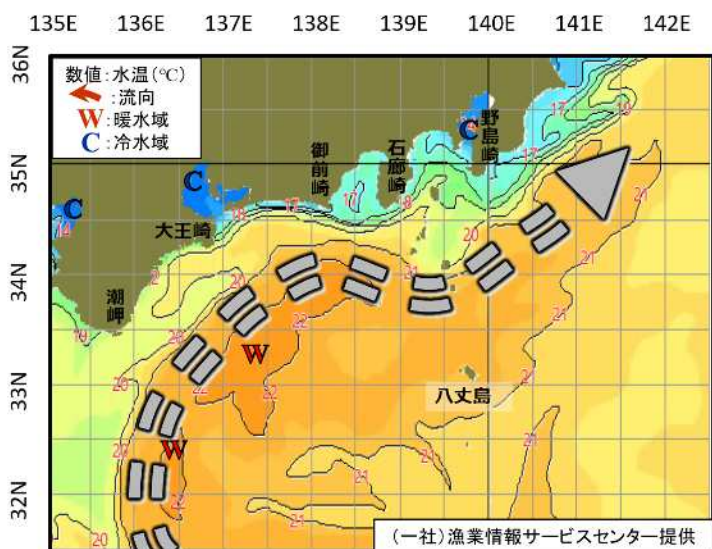
## < 黒潮流路 >

12月23日の人工衛星画像によると、黒潮は足摺岬沖から、大王崎沖の北緯30度付近まで南下した後、八丈島の西側を強いS字状に北上して熊野灘に接近し、その後沿岸部を房総半島沖へ流れています。現在の流路は、流軸が御前崎沖の北緯33度以北を通過するAs型となっています。

## < 渥美外海の状況 >

現在、ごく沿岸部は低温の沿岸水が分布していますが、黒潮が遠州灘に接近しているため、沖合は高温傾向が強まっています。流路変動に影響する黒潮流量の指標となるトカラ海峡（名瀬－西之表）の潮位差はやや上昇傾向にありますが、依然低い水準で推移しており、流路の大きな変化はないと思われます。FRA-ROMSの海況予測では、今後、しばらくはS字状の流路が続く予測となっています。

## 12月23日の水温分布と黒潮流路（詳細図）



## 12月23日の水温分布と黒潮流路（広域図）

